ここでは、Xamarin.Formsアプリのハンズオンに関しての補足編です。

メインの資料は、XXXを参照してください。

1. 環境構築編

Visual studio 2015と2017のXamarinは共存できません。どちらかにしておきましょう。チーム間で利用する場合はチーム間での統一が必要です。

Androidのインストールに関しては、Versionは4.44～がベター。7を入れる際はJDKのインストールが必要なのでXXXを参考にしてください。

Windows 10ではUWPアプリを作成することもできます。Xamarin.FormsではUWPがデバッグしやすいです。UWPの開発者モードを携帯＋PCで行う方法は下記の通りです。

Xamarin×UWPとの絡み

Windows 10ではUWPアプリが導入されています。このUWPアプリ、納入の際に関しての注意点があります。そのため、Xamarin.FormsでUWPを使用する際、下記の事項に注意が必要です。

X付現在：

ターゲットバージョン・ミニマム・・・

基本Windows単体ではいじらないのですが、どうしても「日本語でCortanaとの提携」を考える場合は、November Update（ビルド10586）が最小バージョンとなります。

1. デバッグ・製作編

個人名を英語のスペース入り以上（Kenshiro Fukuda）や、漢字名等を利用している際は、Androidデバッグに影響が出るので、ドライブ直下に配置するようにしましょう。なお、USBメモリは禁物。

1. その他